

News Release

各 位

岡三オンライン証券株式会社
代表者：取締役社長 池田 嘉宏
住 所：東京都中央区銀座3-9-7

F X レバレッジ規制による当社顧客への影響についての調査報告 【取引所 F X (くりっく 365) トップシェアの当社における顧客取引動向の中間報告】

岡三オンライン証券株式会社(所在地：東京都中央区、取締役社長：池田嘉宏)は、本年 8 月 1 日から実施された F X 取引のレバレッジ規制後の、岡三オンライン F X (くりっく 365) における 8 月中の顧客取引動向について、中間報告を取りまとめましたので、公表いたします。

(1) はじめに

今回の内閣府令改正により、F X 取引を行う投資家は、8 月 1 日以降、想定元本の 2% 以上の証拠金の預託が義務付けられました(すなわち、レバレッジは 50 倍以下となります。)

その影響を受け、東京金融取引所の「くりっく 365」全体における、8 月の 1 日あたりの平均取引数量(8 月 20 日現在)は、7 月比 22.4% 減と大きく減少しておりますが、当社におきましては同 13.1% 減に留まっております(8 月の市場シェアは 25.54%)。

■くりっく 365 における 3 ヶ月間の当社取引シェア (当社調べ)

6 月	7 月	8 月 (8 月 20 日現在)
26.05%	23.55%	25.54%

(2) 調査概要

- ・調査期間 平成 22 年 7 月 1 日～8 月 20 日
- ・対象口座 証拠金残高が 1 万円以上の有残口座

(3) 預り資産残高別に見た顧客取引動向

■岡三オンライン F X (くりっく 365) レバレッジ規制前後の取引動向 (8 月 20 日現在)

預り証拠金 残高	7 月 (規制前)				8 月 1 日～8 月 20 日 (規制後)				7 月比
	証拠金 比率	証拠金 (1 人平均)	口座 比率	取引数量 (日)	証拠金 比率	証拠金 (1 人平均)	口座 比率	取引数量 (日)	
全体	100%	3,904 千円	100%	90,653 枚	100%	3,898 千円	100%	78,792 枚	86.9%
300 万円以上	85.2%	13,404 千円	24.8%	60,003 枚	85.0%	13,330 千円	24.9%	58,801 枚	98.0%
50～300 万円	13.1%	1,352 千円	37.8%	18,872 枚	13.3%	1,361 千円	38.0%	14,206 枚	75.3%
1～50 万円	1.7%	178 千円	37.4%	11,778 枚	1.7%	182 千円	37.2%	5,785 枚	49.1%

預り証拠金残高で見ると、当社の取引数量の約 7 割を占める証拠金残高が 300 万円以上の顧客については 2.0% 減と僅かな減少に留まり、50 万円以上 300 万円未満の顧客については 24.7% 減、50 万円未満の顧客については 50.9% 減と、証拠金残高が少ない顧客ほど、今回の規制の影響で取引数量が減少しております。

■預り証拠金 50 万円未満層の取引動向

(一人あたり)

7 月取引数量 (1 日あたり)	7 月取引数量 1 人平均 (1 日あたり)	8 月取引数量 1 人平均 (1 日あたり)	7 月比
50 枚以上	119.9 枚	16.5 枚	13.8%
50 枚未満	2.6 枚	1.7 枚	64.4%

当社の顧客においては、証拠金残高の多い顧客層ほど、規制前からレバレッジ 50 倍以下で取引されており、今回の規制による影響を殆ど受けていないと考えられます。一方、証拠金残高の少ない顧客層ほど、取引の減少幅が大きくなっておりますが、その中でも特に高回転売買を繰り返している（投機的な取引をしている）顧客層については規制後、約 9 割の減少となっております。しかしながら、証拠金残高の少ない顧客層であっても中長期的な資産運用手段として FX 取引を利用している顧客については、規制前後で取引数量は大きく減少しておりません。以上から今回のレバレッジ規制の導入により、小口層の過度な回転売買が減少したことが見て取れ、これは規制導入の目的と合致していると考えられます。

(4) まとめ

規制により一時的に売買の減少が見られている事実がありますが、FX は今後もより生活に身近な商品として、入口商品の役割および安定した資産運用手段としての成長が期待されます。なかでも取引所 FX は税制優遇などのメリットから、より注目を集めていくものと考えております。初めて FX 取引を行う投資家の方にも安心して取引がスタートできるよう、投資家育成に一層力を注いでいく所存であり、また、外貨預金と比較できる低レバレッジ商品を準備中です。投資情報の充実化にも力を注ぎ、市場の健全な発展に寄与してまいります。

以 上